



撮影地：沖縄県宮古島市城辺友利
撮影機種：EOS R3 / RF14-35mm F4 L IS USM

第124期 中間報告書

2024年1月1日～2024年6月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第124期上半期（2024年1月1日から2024年6月30日まで）の概況につきましてご報告申し上げます。

世界経済は、金利の高止まりによる欧州経済の低迷や不動産不況に端を発する中国経済の減速が継続する一方、米国経済は引き続き堅調に推移し、全体としてはゆるやかな回復基調が続いています。

当社関連市場においては、中長期的な市場の成長が見込まれる半導体露光装置やデジタル商業印刷機、メディカル機器は順調に売上を伸ばし、レンズ交換式デジタルカメラやネットワークカメラ、レーザープリンターについては、第1四半期で市場在庫の調整は完了し、第2四半期には売上が増加に転じました。

成長事業を中心とした堅調な販売により、当上半期の連結売上高は前年同期比8.2%の増収、当社株主に帰属する連結当期純利益は23.0%の増益となりました。売上は、上半期としては16年ぶりに2兆円を超え、過去最高である2007年の売上に迫る水準となっております。

こうした上半期の業績を踏まえ、当期中間配当金につきましては、すでにお知らせしている通り前期から5円増配し、1株につき75円とさせていただきます（年間配当金については、1株につき150円を予定しております）。

先行き不透明な政治・経済の状況は続いておりますが、半導体露光装置、デジタル商業印刷機、メディカル機器、ネットワークカメラなどの成長市場において売上拡大を加速させるとともに、カメラやインクジェットプリンターは新製品投入やマーケティング強化により需要を喚起し、4年連続の増収増益を目指してまいります。また従来からの売上拡大、収益改善の取り組みに加えて、販売構造の見直しやメディカル事業革新などの活動を進めることで、当社の5カ年計画「グローバル優良企業グループ構想 フェーズVI」で掲げた2025年の業績目標を達成し、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年8月

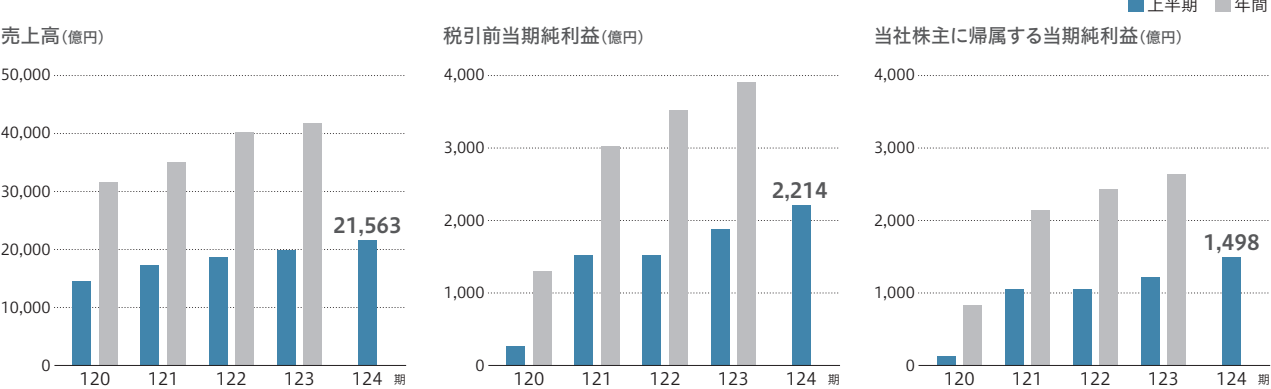
代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗富士夫



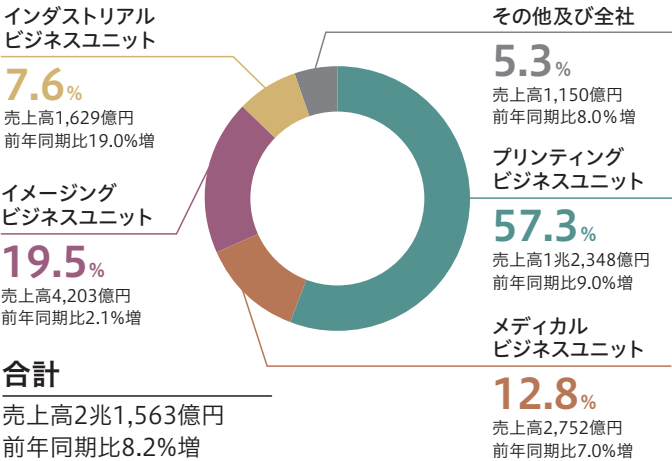
連結決算のポイント

- 当上半期は、半導体露光装置やデジタル商業印刷機、メディカル機器などの成長事業を中心に売上を伸ばした結果、連結売上高は前年同期比8.2%の増収となりました。
- 堅調な売上加え、物流コストや製造原価、販売経費の抑制に努め、当社株主に帰属する連結当期純利益は、前年同期比23.0%の増益となりました。

売上高・損益の推移



部門別売上高の構成



注1. 各ビジネスユニットの連結売上高には、ユニット間取引にかかる売上が含まれているため、総計100%となっておりません。
2. 当期より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、「その他及び全社」におけるユニット間取引の業績管理方法を変更しており、前期についても組み替えて表示しております。

プリンティングビジネスユニット

デジタル連帳プリンター、デジタルカットシートプリンター、大判プリンター、オフィス向け複合機、ドキュメントソリューション、レーザー複合機、レーザープリンター、インクジェットプリンター、イメージスキャナー、電卓

メディカルビジネスユニット

CT装置、超音波診断装置、X線診断装置、MRI装置、デジタルラジオグラフィ、眼科機器、体外診断システム及び試薬、ヘルスケアITソリューション

イメージングビジネスユニット

レンズ交換式デジタルカメラ、交換レンズ、コンパクトデジタルカメラ、コンパクトフォトプリンター、MRシステム、ネットワークカメラ、ビデオ管理ソフトウェア、映像解析ソフトウェア、デジタルビデオカメラ、デジタルシネマカメラ、放送機器

インダストリアルビジネスユニット

半導体露光装置、FPD露光装置、有機ELディスプレイ製造装置、真空薄膜形成装置、ダイボンダー

その他

ハンディターミナル、ドキュメントスキャナー

プリンティングビジネスユニット

アナログからデジタルへのシフトが続く商業印刷については、「imagePRESS Vシリーズ」や「Colorado M」が売上を伸ばし、安定成長を継続しています。5月末からドイツで開催された4年に1度の国際的な印刷機材展示会では、新製品を含め業界をリードする当社の製品ラインアップが好評を博し、受注の拡大につなげました。オフィス複合機については、ここ数年カラー機が販売を伸ばし稼働台数が増加していることでサービス収入が増え、増収となりました。レーザープリンターは、市場在庫の正常化に伴い売上が増加に転じています。

これらの結果、当ビジネスユニットの連結売上高は、前年同期比9.0%増となりました。

メディカルビジネスユニット

画像診断装置については、昨年末の北米放射線学会(RSNA)で発表した80列CTの新製品「Aquilion Serve SP」の投入や、昨年日本でのMRIシェアNo.1獲得に貢献した「Vantage Fortian 1.5T」のグローバル展開が寄与し売上を伸ばしています。成長のための重点市場である米国では、販売体制を強化するとともに、昨年発表したクリーブランド・クリニックとの協業など医療機関やキーオピニオンリーダーである医師との関係強化をすすめプレゼンスを高めることで受注増につなげています。これらの結果、当ビジネスユニットの連結売上高は、前年同期比7.0%増となりました。

イメージングビジネスユニット

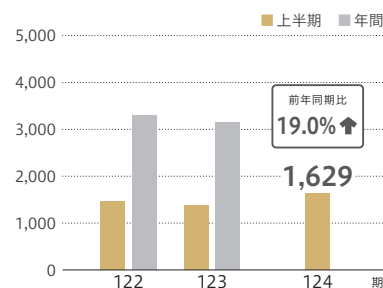
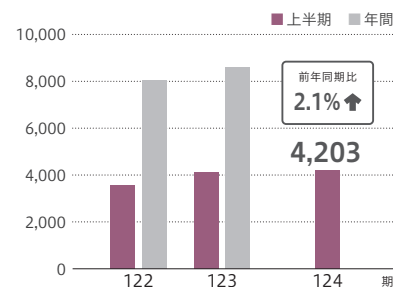
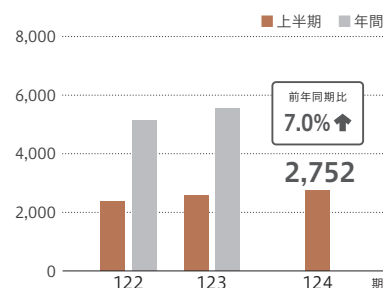
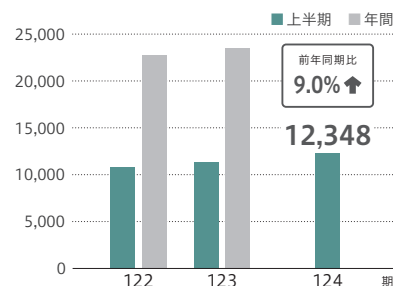
レンズ交換式デジタルカメラについて、ミラーレスカメラは引き続き前年を上回る台数を販売し成長を続けています。下期には、フラッグシップモデルとなる「EOS R1」とプロ・ハイアマチュア向け主力モデルの「EOS R5 Mark II」を発売する予定であり、さらなる売上拡大を目指します。セキュリティ分野を中心に市場が拡大を続けるネットワークカメラについては、第1四半期は在庫の調整局面で売上が伸び悩みましたが、第2四半期からは2桁の売上成長に回帰しており、上期全体としても増収となりました。これらの結果、当ビジネスユニットの連結売上高は、前年同期比2.1%増となりました。

インダストリアルビジネスユニット

半導体は生成AI向けにロジックやDRAMの需要が大きく伸びており、経済安全保障上の観点から自国生産の動きも加わり、半導体露光装置の旺盛な需要は継続しており、当社は電気自動車(EV)などで使われるパワー半導体向け装置や、GPUの先端パッケージに使われる後工程向け装置を中心に、販売台数を昨年から50%以上伸ばしました。また、ノートパソコンやタブレットに搭載されるITパネル向けの有機EL蒸着装置の売上も大幅に増加しました。

これらの結果、当ビジネスユニットの連結売上高は、前年同期比19.0%増となりました。

売上高の推移(億円)





実用化に向けた研究が進む
フォトンカウンティング検出器
搭載型X線CT



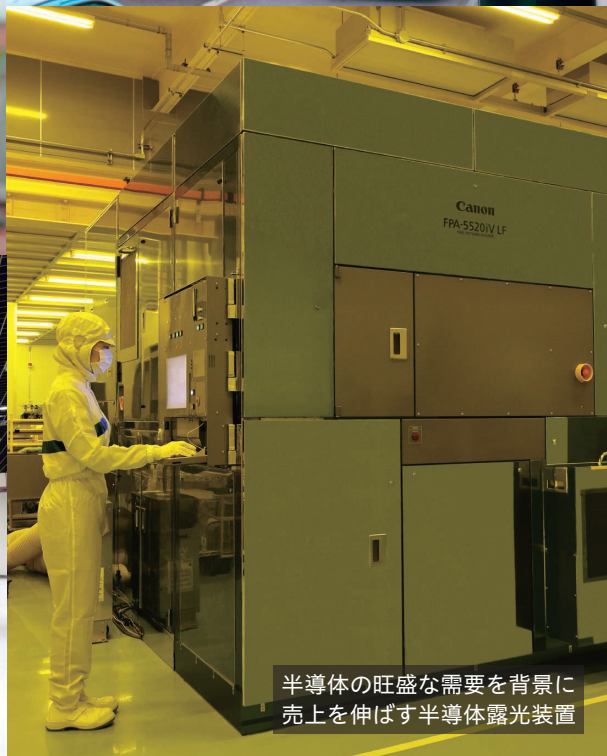
セキュリティ分野を中心に市場の
拡大が続くネットワークカメラ



ラインアップの拡充を進める
ミラーレスカメラ



業界をリードする製品力により
安定成長を継続する商業印刷



半導体の旺盛な需要を背景に
売上を伸ばす半導体露光装置

配当金を配当金領収証との引換えでお受取りの株主様へ（配当金の口座振込制度のご案内）

より安全かつ迅速に配当金をお受取りいただける、口座振込のご利用をおすすめいたします。口座振込制度には次の3つの方式があり、いずれかをお選びいただけます。

株式数比例配分方式

証券会社の口座ごとに、保有株式数に応じた配当金を受取ることができます。

キヤノンの配当金

100株分200株分

X証券の口座
(100株保有)Y証券の口座
(200株保有)

登録配当金受領口座方式

保有するすべての銘柄の配当金を、指定した1つの金融機関の口座で受取ることができます。

キヤノンの配当金A社の配当金

X銀行の口座

個別銘柄指定方式

銘柄ごとに配当金の振込口座を指定することができます。

キヤノンの配当金B社の配当金

Y銀行の口座Z銀行の口座

お手続きは 証券会社にて株式をお持ちの場合 …………… 証券口座を開設された証券会社へ
証券会社にて株式をお持ちでない場合 …………… みずほ信託銀行（フリーダイヤル0120-288-324）へ お問い合わせください。

株式事務手続き

お問い合わせ内容	証券会社にて株式をお持ちの場合	証券会社にて株式をお持ちでない場合*
住所変更	証券口座を開設された証券会社にお問い合わせください。	みずほ信託銀行にお問い合わせください。
単元未満株式の買増・買取請求		
配当金受取方法の変更		
未受領の配当金の受取方法	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル） 受付時間：平日午前9時から午後5時	

* 株式のご売却にあたっては、証券会社等の口座へ振替手続きを行う必要があります。
お手続きの詳細はみずほ信託銀行へお問い合わせください。

当社カレンダーの進呈について

1単元(100株)以上の当社株式を3年以上ご所有いただいている株主様*に、長期保有のお礼として、当社制作のカレンダーを進呈させていただきます。(発送は12月上旬予定)

* 本年6月末日の株主名簿において100株以上のご所有の記録がある株主様で、それ以前の3年間、6月末日および12月末日の株主名簿に同一の株主番号にて100株以上ご所有の記録がある方

Canon
キヤノン株式会社

〒146-8501 東京都大田区下丸子三丁目30番2号
ホームページ global.canon
(トップページの「投資家情報」より、決算・財務データやIRライブラリなどをご覧ください。)